

2020年3月28日

新型コロナウイルス感染症への対応について（第3次）

+ 主の平和

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の宣言が WHO よりなされ、欧州、アメリカでの感染者の急増が報告されております。日本においても東京都、神奈川県、千葉県で不要不急の外出を自粛する呼びかけが公式に発表され、集団感染（クラスター）→感染爆発（オーバーシュート）→都市封鎖（ロックダウン）へと広がる可能性の重大局面であるとしています。このように都市部における対応感染拡大への警戒は緊急の様相を呈しております。

静岡県の新型コロナウイルス感染症対策本部の「県民の皆様への呼びかけ」では、「静岡県においては感染者数が3名と感染者の増加は抑えられている状況」としながらも「油断することなく手洗い、咳エチケットの徹底と3密（密閉空間 密集場所 密接場面）の環境を避けること」を警告しています。

静岡地区教会委員長会議において対応を検討した結果、ミサなどの集会儀礼による感染拡大（クラスター）を避けることが現時点では最も重要であると判断し、現在行っている**公開ミサの中止期間を4月18日（土）まで延長することとしました。**

- ・ 3月30日（月）から4月18日（土）までの公開ミサを中止といたします。
- ・ 聖週間の聖なる三日間については主任司祭が合同で非公開のうちにいたします。

これまで同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響で主日のミサに参加できなくても、横浜教区長の指針にあるとおりミサ参加義務は免除されております。聖堂には中止期間分の「聖書と典礼」を置きますのでお持ちになり、読んで黙想をすることをおすすめいたします。また、この新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々、今なお苦しんでいる人々のことを思い、祈りを捧げてください。そして、新型コロナウイルスが一日も早く終息することを願い、心を合わせて祈りたいと思います。

祈りのうちに

静岡地区共同宣教司牧推進担当司祭 和野信彦